



2026. 9. 11

JTU

ほっきゅう

NO. 32

北九州市教職員組合にゅうす



「8・6平和のつどい」開催される！②

テーマ 「日本は戦争するの？ わたしはいや ヒロシマ・ナガサキを忘れたの？」

NO. 31 からのつづきです

【読み聞かせのエピソード】

生まれた年にママにだっこされてステージに上がった心花さんは、今年5歳。読み聞かせメンバーの一人として、「私の未来に戦争はいらない」と伝えました。舞台の「母と女性教職員の会」のメンバーは、だれもが「戦争はいやだ」とアピールし行動することができる存在なのだというメッセージも伝えてきました。これからも絵本の読み聞かせを通して「決して戦争を許さない」と訴え続けます。皆さんも、メンバーになりませんか。



・戦争を常に身近なこととして捉え、政治や世の中の動きをしっかりと知ろうとしなければいけないと感じた。定期的に平和について考えることの大切さを実感したので、来年も参加したい。(20代)

・私も戦争の知らない子どもでいたいと思いました。あらためて強く戦争の悲しさを知り日本はもう二度と戦争はしないでほしいと思います。(10代)



・初めて参加した。私たち世代では、被爆体験者の話を直接聞く機会があり、戦争は、二度としてはいけない。戦争の悲惨さを身にしみて感じることができる。しかしながら、あの日から80年たった今、被爆体験者からの話を聞けなくなり、戦争とは？を伝えることが難しくなっているので、この活動は、とても有意義な時間だった。(30代)

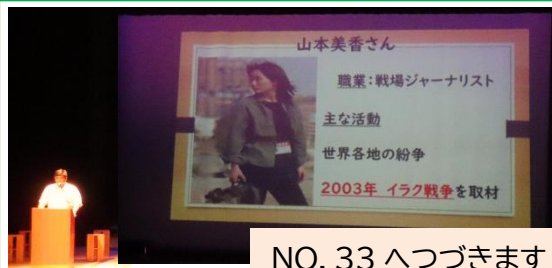
・改めて戦争の恐ろしさや命の尊さを感じた。今の日本は、平和のように感じるが、報道の規制などがあり、私たち国民が知らない間に戦争への道を歩んでいるかもしれないと思うと怖い。(20代)

・学校で行う平和学習の参考にしたいと思い参加した。自分自身「知っている」と思っていたことでも、新たな気づきがたくさんあった。作品展示や提案等も参考にさせていただきたい。自校の教員、子どもたちに見せてあげたかった。(30代)

・ジャーナリストの山本美香さんの「戦争を取材する」の中で同僚がイラン戦争で亡くなっていて怒りでいっぱいなのに取材をしつづける姿がたくましく思いました。山本美香さんの残した「戦場では武器を持たない人々がいちばん傷つく」という言葉が印象に残りました。平和な世界をつくっていくために今何ができるか考えたいです。(10代)

【青年部から】

平和の集いに参加し、大変身の引き締まる思いがいたしました。世界中では、今なお紛争や対立が続いていますが、平和な社会を維持するためには、一人ひとりが歴史を正しく学び、違いを認め合う広い視野を持つことが不可欠です。大人として、次世代にどのような未来を残すべきなのかを真剣に考える貴重な時間をいただきました。ありがとうございました。



NO. 33 へつづきます



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎 3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

